

甲賀忍者発祥の地  
Koka Ninja  
Guide Map

ガイドマップ  
甲賀流忍者

滋賀県甲賀市

交通のご案内



- お車で** 新名神高速道路信楽IC、甲南IC、甲賀土山ICから各町へ。
- 電車で** JRびわこ線草津駅乗り換え、JR草津線各駅で下車。  
JR関西本線桶狭山駅乗り換え、JR草津線各駅で下車。  
JR草津線貴生川駅で信楽高原鐵道に接続。

お問い合わせ先  
甲賀市観光協会  
〒520-3308 滋賀県甲賀市甲南町野田810番地  
TEL.0748-60-2690 FAX.0748-60-2362  
http://www.koka-kanko.org

今に伝わる忍者の事蹟



**1 油日神社 (油日)**  
あぶらのしんじや  
祭神油日大神は中世甲賀武士の崇敬を集め、矢川神社同様頻りに甲賀武士(忍者)たちの集會が行われた。甲賀忍者がウヨウヨ居た!!

住所	甲賀市油日1042	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-2106	拝観料	無料



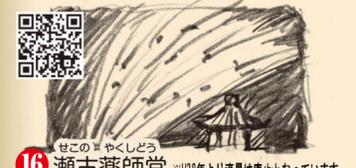
**6 長福寺**  
ちやうふくじ  
浄土宗。江戸甲賀百人組内の梅田助十郎組の位牌・供養塔がある。

住所	甲賀市甲賀町田畑野1008	駐車場	普通
TEL	(0748)88-5111	拝観料	無料



**11 忍術村**  
にんじゆつむら  
甲賀流忍術のテーマパーク。カラクリ屋敷や資料館はその他の施設と共に、主として子供たちが甲賀流忍術を楽しく体験し学ぶ場所。

住所	甲賀市甲賀町藤坂394	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-5000	入村料	有料



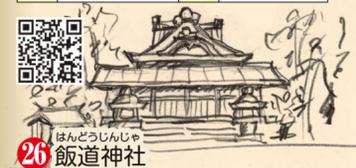
**16 瀬古薬師堂**  
せこのやくしどう  
9月12日の薬師堂会式の日に、「流星」が打ち上げられます。甲賀流忍者は多くの秘薬を発明、中でも「火薬」は、最も技術が進み、忍者の凶器用狼煙と伝えられています。

住所	甲賀市甲賀町藤坂469	駐車場	普通
TEL	(0748)88-4813	拝観料	無料



**21 甲南ふれあいの館**  
こうなん  
忍術という総合技術を生んだ甲賀の地は、古来仙仕事の里であり、その根幹には連続と伝わる鉄加工技術があった。

住所	甲賀市甲南町藤坂925	駐車場	普通
TEL	(0748)86-7551	入館料	無料



**26 飯道神社**  
ほんどうしんじや  
奈良時代以前から続く飯道神信仰の中心。東大寺二月堂にも飯道神が勧請されている。その後神々は仏教と習合して修験道に発展する。現在の社殿は安土桃山時代の再建になるもので、国指定重要文化財。

住所	甲賀市信楽町町7	駐車場	無
TEL	(0748)60-2690	拝観料	無料



**2 甲賀歴史民俗資料館**  
こうかれきし民俗資料館  
白洲正子が発見した福太夫の面などの中世甲賀の民俗資料と共に、高峰家、和田家等の文書の一部が公開展示されている。

住所	甲賀市油日1042	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-2106	入館料	有料



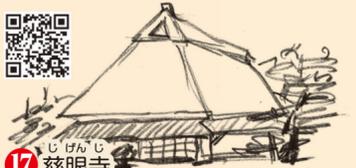
**7 大原家屋敷 (非公開)**  
おほはらけやしき  
大原数馬氏の屋敷。四方が土塁に囲まれ甲賀武士(甲賀忍者)の中でもその存在は高い。

住所	甲賀市甲賀町田畑野	駐車場	無し
TEL	-	拝観料	-



**12 佐治神社**  
さしじんじや  
本殿再建に際し、織田信長の武将池田勝三郎(恒興)が奉納した棟札が残る。鳥取・岡山藩主岡田家の先祖である。

住所	甲賀市甲賀町小佐治1958番	駐車場	普通
TEL	-	拝観料	無料



**17 慈眼寺**  
じげんじ  
臨濟宗。江戸甲賀百人組望月藤左衛門門下 10人の位牌と石碑が残る。伏見城籠城戦で戦った先祖の250回忌供養に子供が帰って来た。

住所	甲賀市甲南町野田469	駐車場	無し
TEL	(0748)86-4813	拝観料	無料



**22 矢川神社**  
やがわしんじや  
矢川姫と大國主を祀る内社。中世・戦国時代には甲賀武士(忍者)達が甲賀郡中惣の集會を行った。甲賀忍者がウヨウヨ居た!!

住所	甲賀市甲南町森尻310	駐車場	普通
TEL	(0748)86-3141	拝観料	無料



**27 唯称寺**  
いししょうじ  
浄土宗。江戸甲賀百人組内の山中福永組十人の墓が残る。

住所	甲賀市水口町宇田142	駐車場	普通
TEL	(0748)62-3932	拝観料	無料



**3 櫛野寺**  
くしやじ  
天台宗の寺院。日本最大の木造観音坐像と20体の重文の平安仏が安置されている。甲賀武士の誇りの寺で江戸の寛永寺と繋がる。

住所	甲賀市甲賀町櫛野1377	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-3890	拝観料	有料



**8 称名寺**  
しょうみやうじ  
浄土宗。江戸甲賀百人組内の山岡伊織組の供養塔や戦国武将・山岡景光の墓石が残る。

住所	甲賀市甲賀町滝1070	駐車場	普通
TEL	(0748)88-3759	拝観料	無料



**13 檜尾神社**  
ひのおしんじや  
本殿再建に際し、織田信長の武将池田勝三郎(恒興)が奉納した棟札が残る。鳥取・岡山藩主岡田家の先祖である。

住所	甲賀市甲南町池田55-1	駐車場	普通
TEL	(0748)86-5878	拝観料	無料



**18 甲賀流忍術屋敷**  
こうかりゅうにんじゆつやしき  
甲賀流忍術のリーダー望月出雲守が、山伏として江戸時代に実際に住んでいた、からくりの外に忍術文書や製薬道具が残る本物の屋敷。

住所	甲賀市甲南町電話師2331	駐車場	普通
TEL	(0748)86-2179	入館料	有料



**23 庚申山広徳寺**  
こうしんさんこうとくじ  
天台宗。南北朝時代には戦場にもなった当山は比較的低地であり、里山伏たちの戦術の修行の場であったと思われる。

住所	甲賀市水口町山988	駐車場	普通
TEL	(0748)62-3458	拝観料	無料



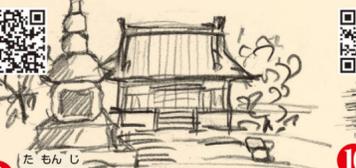
**28 柏木神社**  
かしわじまじんじや  
甲賀武士山中氏の氏神。山中氏が甲賀郡中惣の中心であった期間は短いが、山中氏の集結で甲賀武士が集まっていた可能性は高い。

住所	甲賀市水口町北郷189	駐車場	普通
TEL	(0748)62-3339	拝観料	無料



**4 極楽寺**  
ごくらくじ  
最後の足利将軍となる覚慶(後の足利義昭)を匿い織田信長に引合せるなど戦国時代に活躍した武将・和田惟政の墓がある。

住所	甲賀市甲賀町上野1517	駐車場	普通
TEL	(0748)88-4948	拝観料	無料



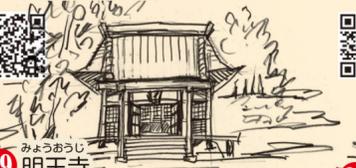
**9 多聞寺**  
たもんじ  
浄土宗。慶長5年(1600)の伏見城籠城戦で戦死した藤山理兵衛親子の墓や藤山家4代の位牌が残る。

住所	甲賀市甲賀町鳥居野690	駐車場	普通
TEL	(0748)88-4884	拝観料	無料



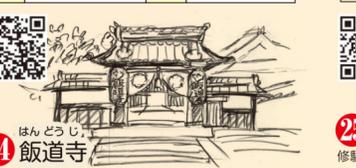
**14 油日神社 (馬杉)**  
あぶらのしんじや  
杉原齊入が忍術で聖徳太子の馬を隠し太子を助けた、村部守屋退治と云う馬杉に残る聖徳太子伝承の中心。辻月目の奉納灯籠も残る。

住所	甲賀市甲南町上馬杉1461番	駐車場	無し
TEL	-	拝観料	-



**19 明王寺**  
みょうおうじ  
天台宗。本尊不動明王。脇には家康以下徳川家四代の位牌が残る。本能寺の変直後の家康退避行のこの地を通った可能性も。

住所	甲賀市甲南町滝尾1972	駐車場	普通
TEL	(0748)86-2572	拝観料	無料



**24 飯道寺**  
ほんどうじ  
明治初期修験禁止令・神仏分離令を受け、山上の仏教的施設が廃絶され、貴重な仏像等が流出する中、残る大切な遺産を築き、真言宗ではなく、修験者に多かった天台宗の寺として明治時代に新たに再興された。

住所	甲賀市水口町三大寺	駐車場	無
TEL	(0748)60-2690	拝観料	有料



**29 川田神社**  
かわたしんじや  
鎌倉時代内氏の氏神。創建は垂仁天皇の代とされる古い歴史を持つ神社。掲げ祭(ようさい)は、白鳥を羽子でいるという珍しい祭りが残っている。

住所	甲賀市水口町北内貴490	駐車場	普通
TEL	(0748)62-6084	拝観料	無料



**5 くすり学習館**  
くすりがくしゆかん  
近江と甲賀の製薬・売薬の歴史を学ぶ施設。体験学習の一環として忍者の携帯食「兵糧丸」作りを体験できる。

住所	甲賀市甲賀町大原中898-1	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-8110	入館料	無料



**10 大鳥神社**  
おとりしんじや  
元牛頭天正社。武勇の神サノオの命を祀る。大原同名中の氏神。今も8月3日に全国から関係者が集まり、大原同名中の集會がある。

住所	甲賀市甲賀町鳥居野782	駐車場	普通・大型
TEL	(0748)88-2008	拝観料	無料



**15 誓蓮寺**  
せいれんじ  
浄土宗。岸和田藩甲賀五十士の馬杉氏の菩提寺。なぜか第五代岸和田藩主の位牌が残る。無縁墓地には甲賀くいのちの物語が残る。

住所	甲賀市甲南町上馬杉1435	駐車場	普通
TEL	(0748)86-4494	拝観料	無料



**20 岩尾山息庵寺**  
いわおさんそくしやうじ  
天台宗。本尊不動明王。奥の院には唐盧僧が残る。山全体が忍者の修行場であったとも云われる。

住所	甲賀市甲南町杉谷3774	駐車場	普通
TEL	(0748)86-5700	拝観料	無料



**25 飯道山**  
ほんどうさん  
修験道を開創した役行者がこの飯道山をも開いたと伝わる。醍醐寺三宝院の直轄地として梅本院・岩本院など50もの僧坊を山中に営じて、各地の山伏の任免権を行使して全国に修験者を振るうとともに、多くの甲賀忍者の師がこの山中で修行して集った。

住所	甲賀市水口町三大寺	駐車場	無し
TEL	(0748)60-2690	拝観料	無料



**30 大光寺**  
だいくし  
鎌倉時代の公卿・近衛家基は右大臣を経て、1289年關白となり、後に信楽庄川内(隠居)。家基の孫がこの地の豪族・多羅尾氏の始祖になる。

住所	甲賀市信楽町小川1137	駐車場	無し
TEL	(0748)82-1364	拝観料	無料

甲賀忍者と中世城郭  
~人物とかがわり~

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <b>1 上野城跡</b> (甲賀町油日)<br>上野同名中の惣領家上野氏の居城。織豊期に手を加えた跡が見られる      | <b>9 村雨城跡</b> (甲賀町新治)<br>国指定史跡。城主不明だが、織田軍から六角氏を守るため改修されている            | <b>17 下山城跡</b> (水口町下山)<br>織豊期に名を冠し、本能寺の変で信長と共に散った伴氏本流伴太郎左衛門の城         |
| <b>2 寺前城跡</b> (甲賀町新治)<br>国指定史跡。城主不明だが、織田軍から六角氏を守るため改修されている    | <b>10 新宮城跡</b> (甲賀町新治)<br>国指定史跡。城主不明だが、織田軍から六角氏を守るため改修されている           | <b>18 水口岡山城跡</b> (水口町水口)<br>甲賀武士を監視するため秀吉の命で作られた中村増田長三の城。完全に織豊系       |
| <b>3 山岡城跡</b> (甲賀町毛吹)<br>勢多城主として信長に仕えた山岡氏の本貫地の城跡。山岡景隆はこの地で没した | <b>11 竹中城跡</b> (甲賀町新治)<br>国指定史跡。城主不明だが、織田軍から六角氏を守るため改修されている           | <b>19 土山城跡</b> (土山町北土山)<br>後の土山陣土山氏が武士であったときの城。蒲川一益に攻められ落城したと云う       |
| <b>4 大原城跡</b> (甲賀町田畑野)<br>大原同名中の中心大原氏の居城。万川集海を幕府に献上した大原数馬の実家  | <b>12 新宮支城跡</b> (甲賀町新治)<br>国指定史跡。城主不明だが、織田軍から六角氏を守るため改修されている          | <b>20 黒川城跡</b> (土山町黒川)<br>甲賀武士黒川氏の城であるが、小牧長久手戦に際し秀吉により改変された模様         |
| <b>5 滝川城跡</b> (甲賀町櫛野)<br>後の信長四天王の一人蒲川一益の父の城。一益は蒲を経て尾張へ向かった    | <b>13 村島城跡</b> (甲賀町柑子)<br>室町末期から戦国初期に望月氏の本拠であった城。長兄の城                 | <b>21 音羽野城跡</b> (土山町音羽)<br>甲賀武士大原原氏の居城とされるが、織豊期に大きな改変を受けている           |
| <b>6 藤山城跡</b> (甲賀町鳥居野)<br>長楽正家による家康暗殺計画を見破り家康に通報した藤山理兵衛の城     | <b>14 村島城跡</b> (甲賀町柑子)<br>室町末期から戦国初期に望月氏の本拠であった城。弟の城                  | <b>22 小川城跡</b> (信楽町小川)<br>天正10年神保甲賀伊賀越えの際、家康一行が多羅尾一族に守られて泊まった城        |
| <b>7 佐治城跡</b> (甲賀町小佐治)<br>早くから信長に従ったが、秀吉に改易され、佐治為次は中理兵衛の城     | <b>15 馬杉本城跡</b> (甲賀町上馬杉)<br>室町末期から戦国初期に望月氏の本拠であった城。弟の城                | <b>23 雲山城</b> (湖南市三雲)<br>六角の命により千鶴峠で信長を狙撃した杉谷善住坊の父杉谷勝次の城              |
| <b>8 杉谷城跡</b> (甲賀町杉谷)<br>六角の命により千鶴峠で信長を狙撃した杉谷善住坊の父杉谷勝次の城      | <b>16 朝宮城山城跡</b> (信楽町下朝宮)<br>城主不明。城跡の特色から推定、家康一行が多羅尾一族永氏等の影響が見える      | <b>24 多羅尾代官屋敷</b> (信楽町多羅尾)<br>1600年に代官に就任して以来268年間徳川家領5~11万石の代官屋敷があった |
| <b>25 三雲城</b> (湖南市三雲)<br>六角の命により千鶴峠で信長を狙撃した杉谷善住坊の父杉谷勝次の城      | <b>26 多羅尾代官屋敷</b> (信楽町多羅尾)<br>1600年に代官に就任して以来268年間徳川家領5~11万石の代官屋敷があった | <b>27 三雲城</b> (湖南市三雲)<br>六角の命により千鶴峠で信長を狙撃した杉谷善住坊の父杉谷勝次の城              |



ボランティアガイド

市内の名所、旧跡、観光地、忍者ゆかりの地等のガイドをご希望の方は、お気軽にお申込みください。

申込先  
甲賀市観光協会  
〒520-3308 滋賀県甲賀市甲南町野田810番地  
TEL.0748-60-2690

Rent-a-cycle  
レンタサイクル

設置場所	営業時間	お問い合わせ	料金/1日
道の駅「あいの土山」	9時から18時 火曜定休	TEL.0748-66-1244 道の駅「あいの土山」	¥1,000 <small>(保証金¥1,000)</small>
信楽高原鐵道「信楽駅」構内	9時から17時	TEL.0748-82-3391 信楽高原鐵道	¥1,000 ¥500
信楽町観光協会(伝統産業会館内)	9時から17時	TEL.0748-82-2345 信楽町観光協会	¥1,000 ¥500
JR油日駅	9時から17時	TEL.0748-88-5879 油日駅を守る会	¥1,000 ¥500
JR甲賀駅	9時から17時	TEL.0748-60-2690 甲賀市観光協会	¥500
JR寺庄駅前	7時から18時	TEL.0748-86-2109 小川商店	¥500 <small>(保証金¥500)</small>
JR甲南駅前	8時から17時	TEL.0748-86-2305 杉本売店	¥500 <small>(保証金¥500)</small>
JR貴生川駅(貴生川地城市民センター)	8時半から17時15分	TEL.0748-62-2027 貴生川地城自治振興会	¥700 ¥500

江戸幕府と「甲賀百人組」

天正10年(1582)本能寺の変の直後、家康が堺から岡崎へ逃げる「神君甲賀伊賀越え」に当たり、多羅尾一族など多くの甲賀武士が家康一行を支援した。彼らは江戸幕府成立後、この時の貢献を認められて多くが500石取り以上の江戸に在府本となった。多羅尾、山口、和田、山岡、山中、美濃部、武島などである。彼らは一般には忍者と呼ばれていないが、活動の内容は如何にも甲賀武士的であり、甲賀忍者の活動であったと云える。

慶長5年(1600)の関ヶ原の役に際しては、前哨戦となった家康の城伏見城の籠城戦に百人余りの甲賀武士が参戦し、80人以上が戦死した。戦後家康は、数少ない生存者と戦死者の遺族を中心に10人の与力(200石)と100人の同心(20石)として甲賀の地で「甲賀百人組」を編成した。約30年後江戸幕府の命で彼らは江戸へ移住し、「江戸甲賀百人組」として青山辺りに集住し、江戸城百人番所に勤め、大手三門の守備に当たった。

嘉永2年(1849)、これら与力と同心の子孫たちが伏見城で戦死した先祖の250回忌法要のため甲賀に一時帰郷し、与力たちの出身地の寺に集団位牌と石碑を残した。今も残るこれらの跡は甲賀忍者として戦場に散った先祖のお陰と感謝した子孫の気持の証である。



忍者と忍術

甲賀は伊賀と並ぶ忍者の里である。特に仙川の流域と飯道山の山麓は、古くから天台密教と修験道が重層した結果山上の修験と里山伏が一体となり、そこへ甲賀の地理的特色や都の近さが、深い知識と高い技術、強い武術と厚い情報網を合わせ持つ甲賀武士集団を生み出した。戦国時代、彼ら甲賀武士が「甲賀の忍び」として世に知られ、各地の大名に招かれて特異な活躍をしたとき、彼らの中に「甲賀忍術」が成立していった。

「忍者」という用語は近代のものであるが、「甲賀の忍び」が戦国時代に有能であったことは家康の軍師が江戸時代初期に書き残しており、間違いない歴史上の事実である。一般に「甲賀の忍び」はゲリラ戦や情報戦を得意とし、元々火矢、のろし、松明など黒色火薬を用いる技術である火術をも得意とし、火縄銃が渡来した時にはいち早く導入した。これらの戦闘技術に、薬草の知識をベースとして腹薬や鎮痛剤から毒薬や眠り薬、地理や星座の知識、安心を得るための精神統一術、更には情報操作術から高度な戦術論や戦略論まで幅広い知識を加えて集大成されたものが「忍術」である。

したがって、忍者とはドロロンと消える怪物でもなければ、物凄い特殊武術の大家でもなく、普通の甲賀の人達が、修行を通じて幅広い知識と技術を学んで一人前の「甲賀武士」となり、実践の場で生かされて成果を上げた時、彼らは「甲賀の忍び」となったのである。

甲賀忍者発祥の地  
Ninja Map

甲賀忍者の歴史

ひと村程度を基盤とする小領主である半農半武の甲賀武士は、地元では中世農民自治の中心人物でもあったが、長享元年(1487)、近江守護六角高頼を守ってゲリラ戦で奮戦し、將軍足利義尚の軍を「鈎(まがり)の陣」において夜襲して戦功をあげ、この活躍が「甲賀の忍び」として全国に知れ渡るとともに、この戦功により六角氏より感状を受けて「甲賀五十三家」や「甲賀二十一家」が成立した。戦国時代には甲賀武士は全国各地で忍びとして活躍し、平和な江戸時代には主として甲賀に残った者達が苦勞して伝統を守り伝えた。



中世城郭と忍者

そもそも甲賀忍者とは甲賀武士が、多くの場合甲賀郡の外で仕事として活躍した姿を、第三者が名付けたものである。では彼らは甲賀の地元ではどうしていたのか。実は同名中惣や甲賀郡中惣という農村の自治が行われていた中心には常に土豪として甲賀武士が名域を率いていた。その彼らが自分たちの地域を守るために築城し守ったのが甲賀の中世城郭である。つまり甲賀の中世城郭とは甲賀忍者の地元での力の源泉であった。